



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず押下げてください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。

●建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因となります。

■取付け上のお願

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
  - 造作材の取付け・建具のかい木には、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
  - 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
  - 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
  - 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
  - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
  - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
  - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
  - 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
  - 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、すき間をつくって納めてください。
  - 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整して柱にあてて内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合はかい木を入れてください。
  - 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
  - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
  - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
  - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
  - 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のLDビスでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

〔標準ドア・トイレドアの場合〕

ドア本体		3方枠		ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)	
		<p>●縦枠(2本)</p> <p>●上枠</p> <p>●カバー材</p> <p>●縦枠用戸当たり(2本)</p> <p>●枠定規(施工治具用)</p>		<p>●部品セット</p> <p>●取付け説明書</p> <p>●ソフトクローズ用部品セット</p>	
		<p>●ツバなし薄沓すり</p> <p>●縦枠(2本)</p> <p>●上枠</p> <p>●カバー材</p> <p>●縦枠用戸当たり(2本)</p>		<p>●部品セット(2個)</p> <p>●取付け説明書</p> <p>●ソフトクローズ用部品セット</p>	
<p>ハンドルセット</p>	<p>鍵錠セット</p>			<p>ツバ付薄沓すりセット(別売り)</p> <p>●ツバ付薄沓すり</p> <p>●ツバ材(2本)</p>	
				<p>埋込沓すりセット(別売り)</p> <p>●埋込沓すり</p> <p>●溝フタ</p>	

## ■ 枠セット明細

	標準ドア	トイレドア
縦枠	2	2
上枠	1	1
戸当り	縦2	縦2
(※1) 枠定規	1	1
(※2) ツバなし薄沓すり	1	1
カバー材	1	1

※1) 3方枠の場合、4方枠には含まれません。

※2) 4方枠の場合、3方枠には含まれません。

## ■ ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

## ■ 本体丁番ねじセット明細

(枠に同梱、丁番にテープ止め)

本体取付けねじ(皿タッピンねじφ4×20)	8本
-----------------------	----

## ■ ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

## ■ 錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

## ■ 取付け範囲(単位: mm)

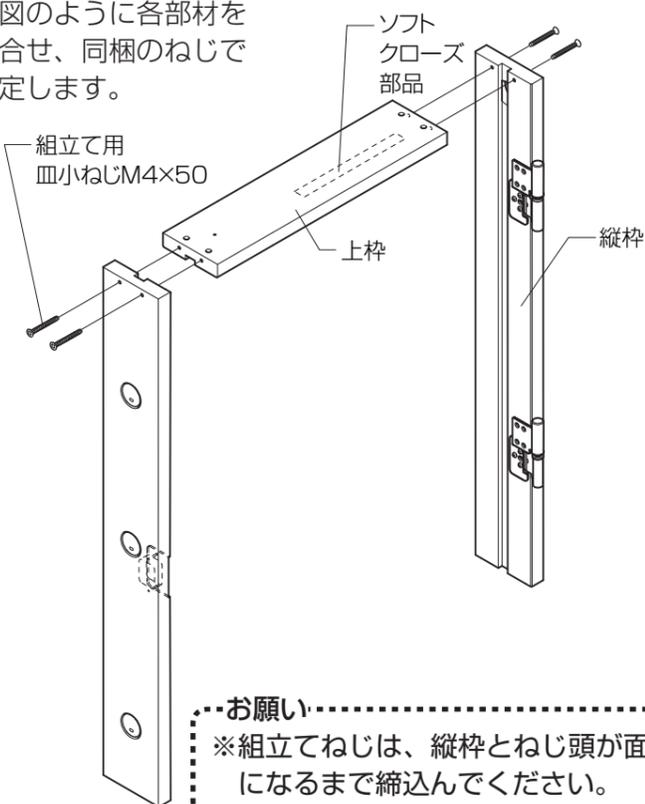
	ケーシングタイプ			
	薄壁用	厚壁用		
対象壁厚	111 ~ 141	142 ~ 182		
	ノンケーシングタイプ			
	NC115	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	76 ~ 100	116 ~ 130	131 ~ 145	146 ~ 160

## ■ 取付け順序

### 1 枠の組立て

#### 【3方枠の場合】

● 下図のように各部材を  
組合せ、同梱のねじで  
固定します。



お願い

※ソフトクローズ部品のくちばし形状がある側を丁番側縦枠に向けてねじ固定してください。

## ■ 部品セット明細

### 標準ドア・トイレドア用(C付/NC156/171/180)

	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじM4×50	4本	8本
上枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	※7本	※7本
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本	6本

※予備用4本を含む

### 標準ドア・トイレドア用(NC115)

	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじM4×50	4本	8本
縦枠取付け用ナベタッピンねじ(LDビス)φ4.1×60	10本	10本
上枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	3本	3本

● ドアストッパーセットは別売りです。

### ソフトクローズ用

ストライカ	1個
ストライカ用スペーサー	1個
ストライカ用取付けねじφ3.8×20	4本
カバー材取付け金具	1個
カバー材取付け金具取付けねじφ4×16	1本
位置出し治具	1個

### ツバ付薄沓すり用

組立て用トラスタッピンねじφ4×25	4本
--------------------	----

### 埋込沓すり用

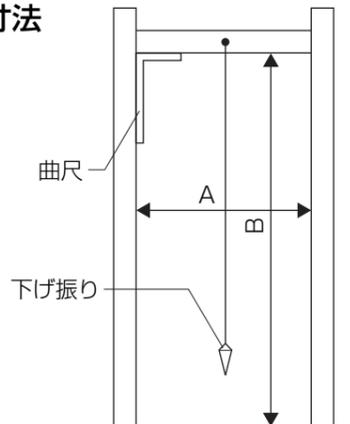
取付け用ナベタッピンねじφ4×40	4本
-------------------	----

## ■ 開口部の作り方

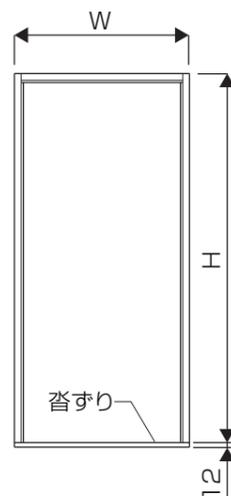
※開口部の水平・垂直を正しく出して  
ください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+床厚+5mm

### ● 開口寸法

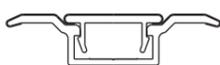


### ● 製品寸法

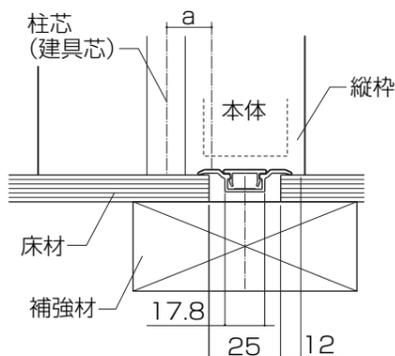


### 【3方枠に埋込沓すりを使用する場合】

#### ● 埋込沓すり

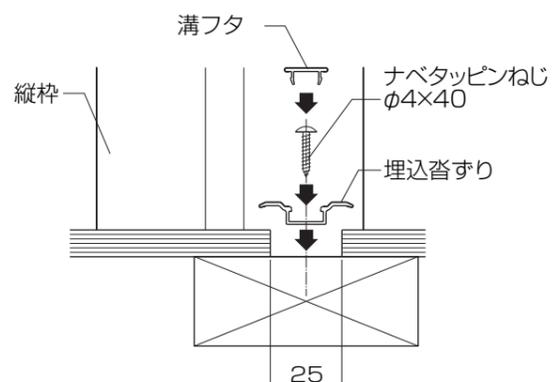


① 補強材を必ず入れ、下図の位置に  
25mmあけて床材を張ります。  
※躯体に縦枠を仮止めして位置出しを  
してください。



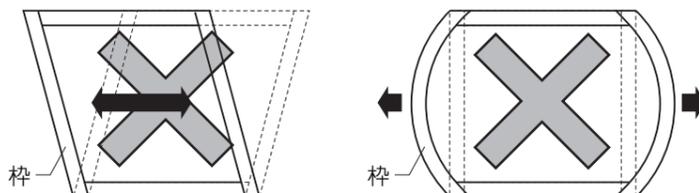
枠機種	NC115	NC156	NC171	NC180	C付115(薄壁)	C付142(厚壁)
a寸法	20.5	41	48.5	53	20.5	34

② 埋込沓すりを、戸当たりに接する位  
置にねじ止めし、溝フタをはめ込み  
ます。



お願い

※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。  
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。



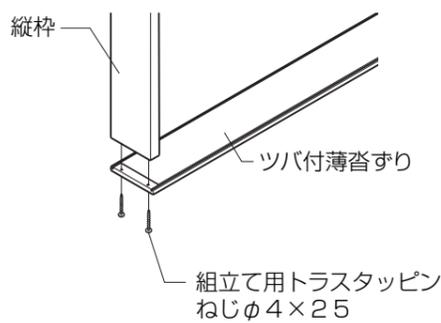
### 【3方枠にツバ付薄沓すりを使用する場合】

※縦枠と上枠の組立ては、3方枠の場合の記載を確認してください。

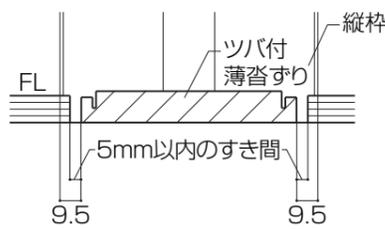
#### ●ツバ付薄沓すり



①右図のように各  
部材を組合わせ、  
同梱のねじで固  
定します。



②枠の取付け後、下図のように床材を張  
ってください。



お願い  
※床材とツバ付薄沓すりのすき間は  
5mm以内にしてください。た  
だし、キャスターや車いすなどの荷  
重がかかる場合は、すき間をあけ  
ないでください。

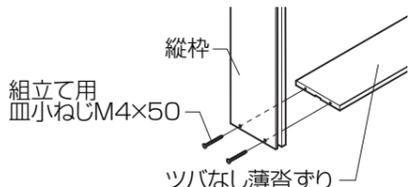
### 【4方枠の場合(床後張り(枠先付け)の場合)】

※縦枠と上枠の組立ては、3方枠の場  
合の記載を確認してください。

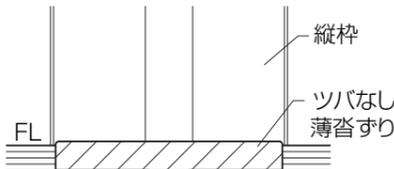
#### ●ツバなし薄沓すり



①下図のように各部材を組  
合わせ、同梱のねじで固  
定します。



②枠の取り付け後、下図のように  
縦枠・ツバなし薄沓すりにそ  
って床材を張ってください。

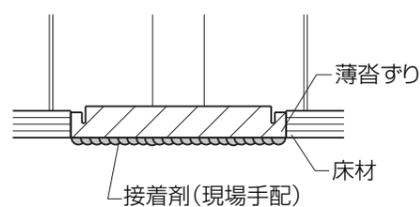


### ■躯体への取付け方

※ツバなし/ツバ付 薄沓すり 共通

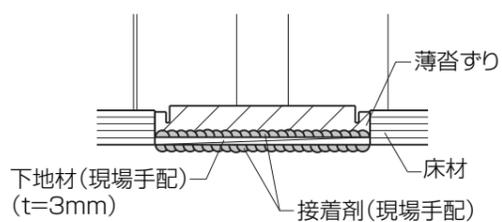
#### ●床材厚さ12mm

※必ず薄沓すりに接着剤(現場手配)  
を付け、躯体に固定してください。



#### ●床材厚さ15mm

※必ず薄沓すりと下地材に接着剤(現場手  
配)を付け、躯体に固定してください。



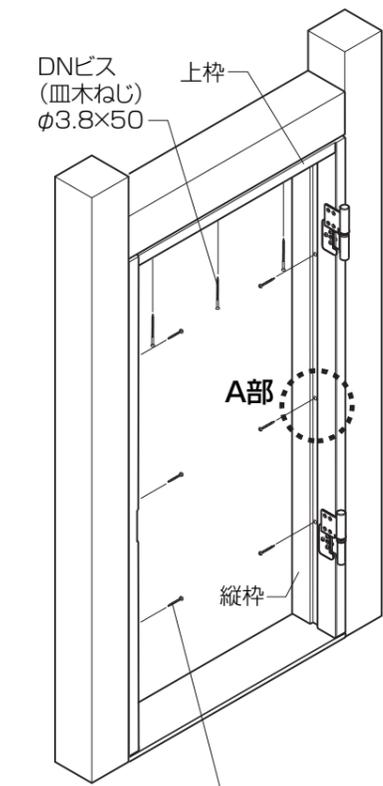
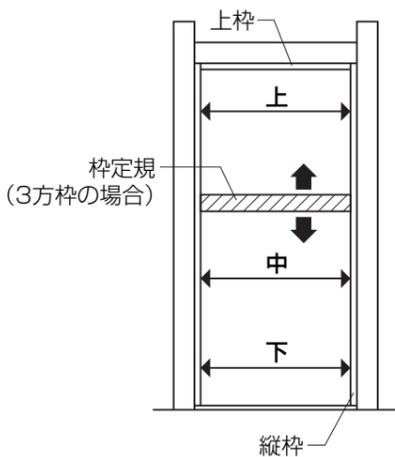
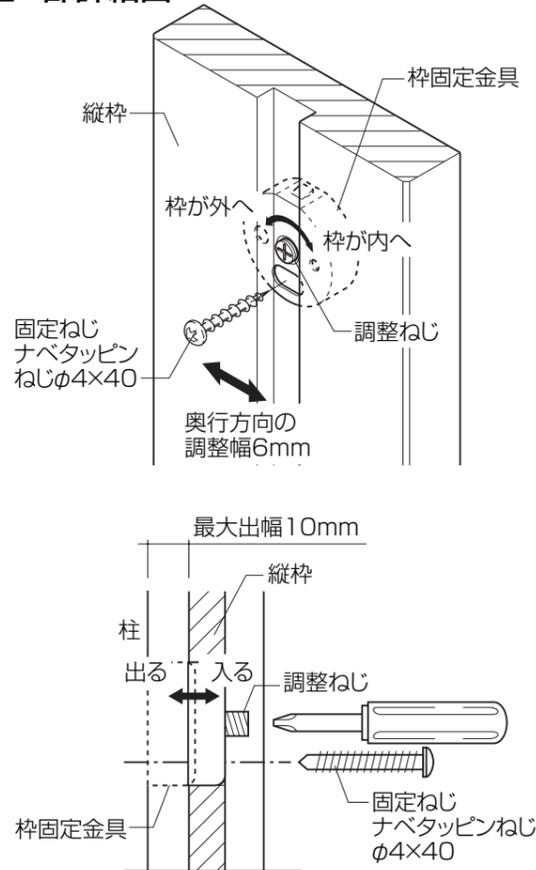
## 2 枠の取付け

### 【C付/NC156/171/180の場合】

- ①縦枠に取り付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整  
ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
  - ②枠の垂直を確認してください。
  - ③固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中  
央部分より締付けてください。
  - ④枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、  
固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は  
6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
  - ⑤開口寸法(W方向)が上・中・下の個所で揃っていることを確  
認してください。(3方枠の場合は、枠定規を当てて確認して  
ください。)開口寸法が大きい場合は、調整ねじを時計回りに回  
し、小さい場合は、反時計回りに回して枠を調整してください。  
(左右方向の調整範囲は片側で10mmです。)
  - ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
  - ⑦上枠をかい木を入れてDNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定  
してください。
- ※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用DN  
ビス(皿木ねじφ3.8×50)で固定してください。

お願い  
※枠固定金具の調整には、電動ドライバーを使用しないで  
ください。  
※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突  
きあてができない場合は、必ずかい木を入れてください。

### ■A部詳細図



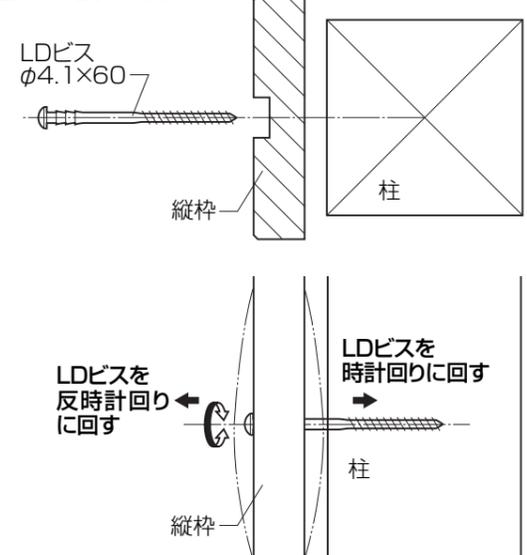
【C付/NC156/171/180の場合】  
ナベタッピンねじφ4×40(6本)  
【NC115の場合】  
LDビスφ4.1×60(10本)

### 【NC115の場合】

- ①縦枠をLDビス(φ4.1×60)で垂直になるように調整してかい  
木を入れて固定してください。
  - ②上枠をDNビス(皿木ねじ)φ3.8×50にてかい木を入れて固  
定してください。  
※埋込沓すりを使用する場合は、上枠・縦枠のみ固定します。
  - ③開口寸法(W寸法)が上・中・下の個所で揃っていることを確  
認してください。(3方枠の場合は、枠定規を当てて確認して  
ください。)開口寸法が大きい場合は、LDビスを反時計回りに回  
し、小さい場合は、時計回りに回して枠を調整してください。
  - ④再度、枠の垂直を確認してください。
- ※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用DN  
ビス(皿木ねじφ3.8×50)で固定してください。

お願い  
※軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のLDビスでは取付  
けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配  
してください。

### ■A部詳細図



### 3 縦枠ユーザー当たりの仮固定

- 縦枠ユーザー当たりを縦枠に仮固定してください。
- ※ 戸当たりは埋込沓すりより先に仮固定してください。

お願い

- ※ ハンマーなどで直接たたき込まないでください。
- ※ 接着剤を塗布しないでください。後で外します。
- ※ 本体取付け前に縦枠ユーザー当たりやカバー材を開口に合わせてカットされる場合は、「11 カバー材の取付け」、「12 縦枠ユーザー当たりの取付け」の記載事項にならってカットしてください。



ボンド  
接着剤

### 4 ツバ材の取付け

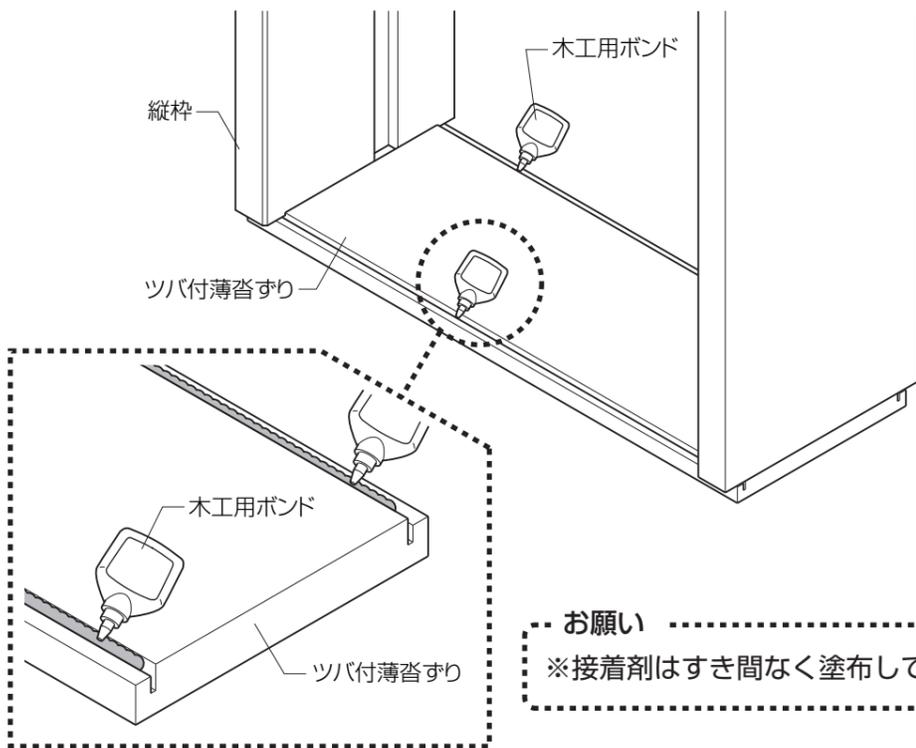
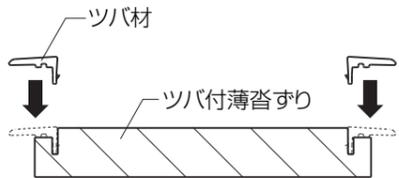
#### (ツバ付薄沓すりを使用する場合のみ)

- ① 現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ② ツバ付薄沓すりの溝に木工用ボンド(現場手配)をつけてください。

③ ツバ材を溝に手ではめこんでください。

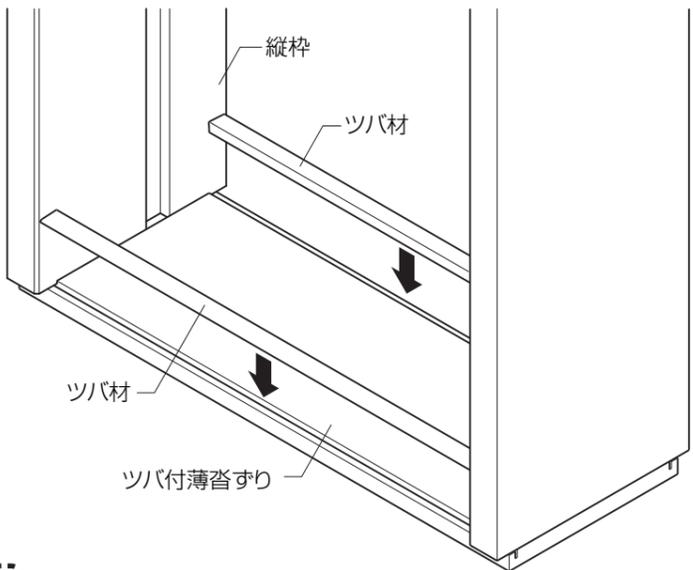
お願い

- ※ ハンマーなどで強くたたき込まないでください。



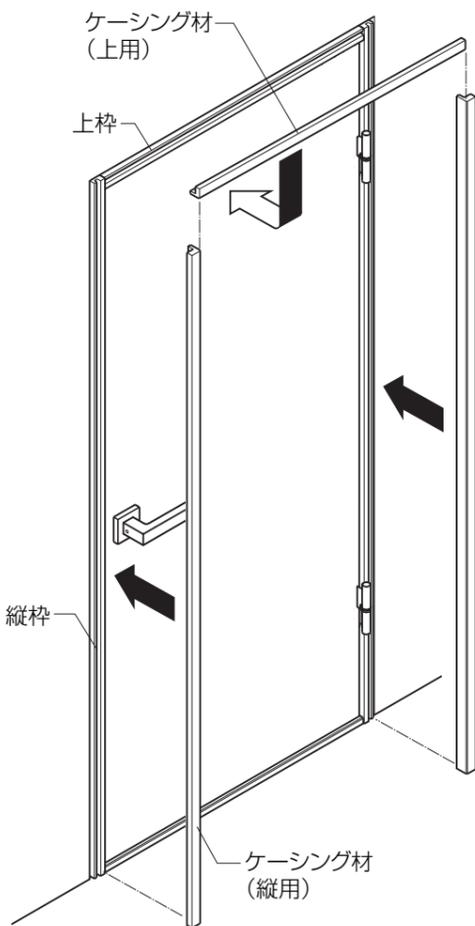
お願い

- ※ 接着剤はすき間なく塗布してください。



### 5 ケーシング材の取付け (ケーシングタイプのみ)

- ※ 壁材・床材を仕上げたからケーシング材を取付けてください。
- ① 別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ② 枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※ 仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



## 6 ドア本体の取付け

① ドア本体に、本体側丁番を皿タップピンねじφ4×20(枠側丁番にテープ止め)で取付けます。

(C・C'部)

※ ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。

② 下丁番カバーを上げます。

③ 上丁番カバーを外してください。

④ 本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(C部)

※ 軸は8mm程残した位置で止まります。

⑤ 本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(E部)

※ 本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。

⑥ 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。

⑦ 本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。(F図)

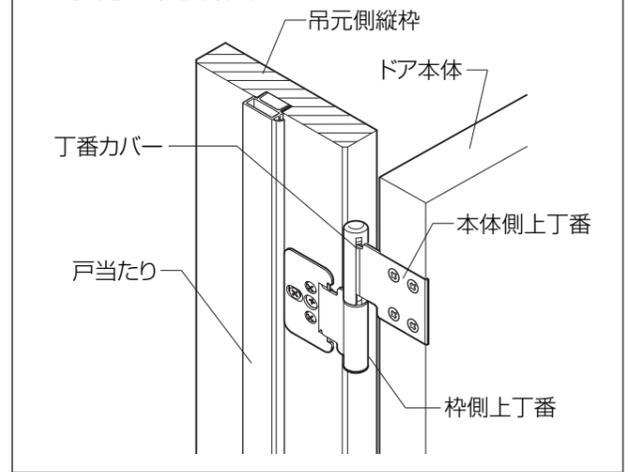
⑧ 上丁番カバーを取付けます。

※ 枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

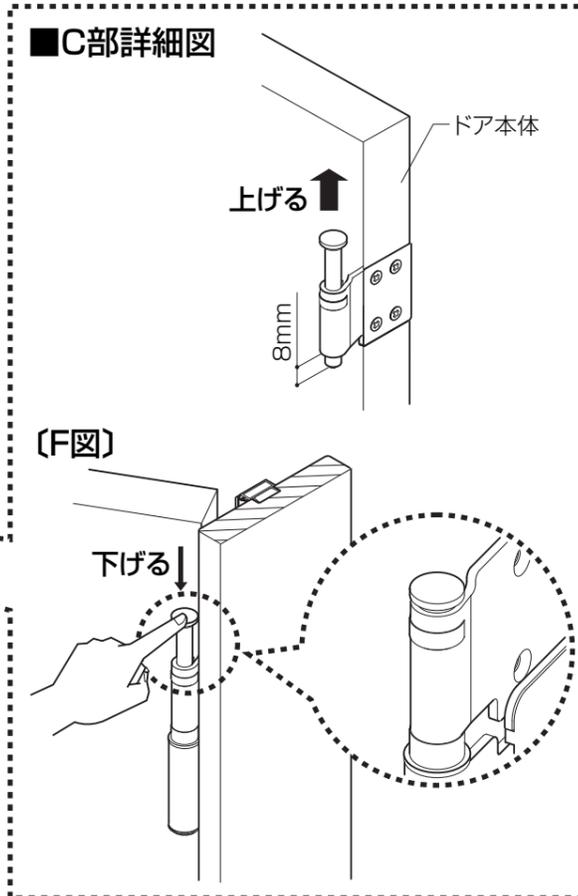
⑨ 下丁番カバーを下げます。

※ 枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

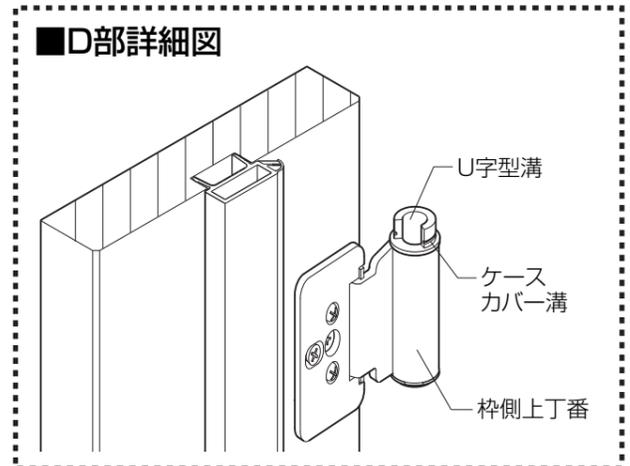
### ■取付け完成図



### ■C部詳細図



### ■D部詳細図



#### お願い

※ 本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 昼夜などで温度差の激しい場所
- ・ 湿気の多い場所

本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

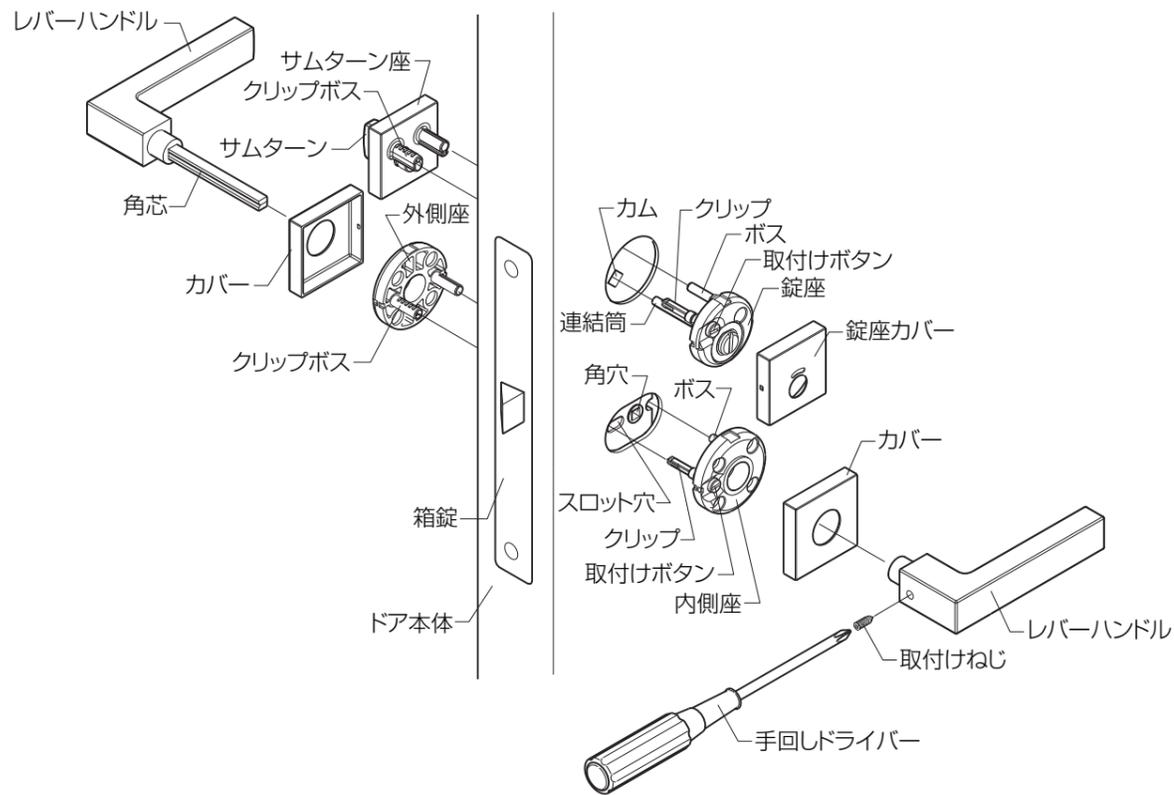
※ 長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。

本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

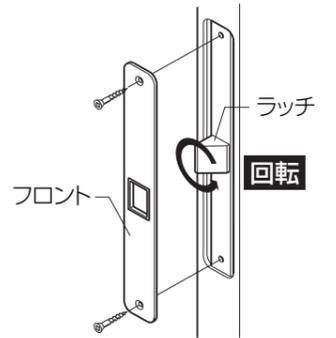
### ▲ 注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず押下げてください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。

## 7 把手の取付け



※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを180°回転させた後、フロントを付け直してください。



### ■表示筒とサムターンの向き

●表示筒 ●サムターン



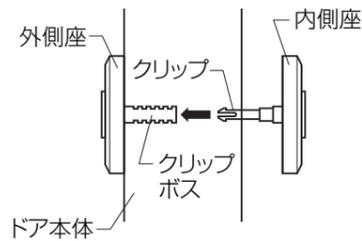
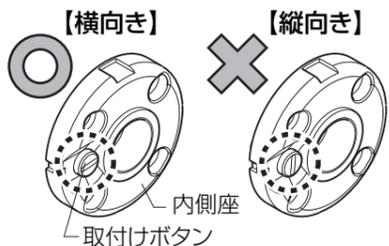
※表示筒の場合はサムターンと表示筒の溝の向きを上図のように合わせてください。

解錠時…縦 (■: 青色)  
施錠時…横 (□: 赤色)

### 【ハンドルの取付け】

- ①外側座を箱錠のスロット穴に差込んでください。
- ②内側座の取付けボタンが横向きになっていることを確認してください。

- ③内側座のクリップを外側座のクリップボスに合わせて差込んでください。



お願い

※クリップとクリップボス(穴があるボス)穴の中心位置を合わせてください。位置が悪いと差込むことができず、クリップが破損するおそれがあります。

- ④取付けボタンを指で押込んでください。

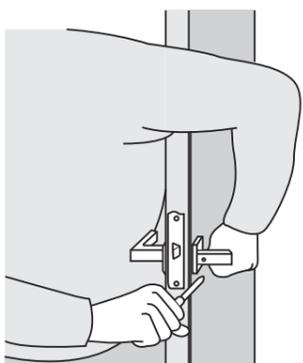
- ⑤カバーを時計回りにまわして座に取付けてください。



- ⑥両側のレバーハンドルを箱錠の角穴に差込んでください。
- ⑦レバーハンドルの両側よりハンドル軸部を手と腰で押付けながら、止めねじで固定してください。

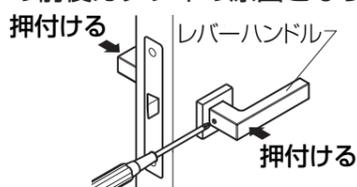
お願い

※必ず手回しドライバーでねじ固定してください。

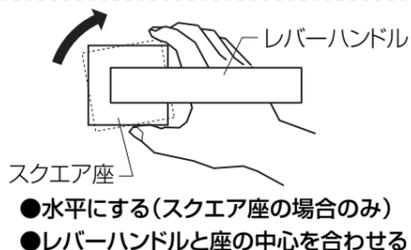


お願い

※必ず両側からレバーハンドルを押付けながら、ねじ固定してください。押付けないとレバーの前後ガタツキの原因となります。



- ⑧座の位置(中心度)、姿勢(水平度)を手で修正してください。座はバネの力により両側の座でドア本体をはさみ込んでいます。



### 【錠座の取付け】

- ①サムターン座を先に切欠穴に差込みます。
- ②錠座の取付けボタンの溝が横向きにセットされていることを確認します。
- ③錠座の連結筒を箱錠のカムに差込み、錠座のクリップをサムターン座のクリップボスに合わせて差込んでください。

お願い

※クリップとクリップボス(穴があるボス)穴の中心位置を合わせてください。位置が悪いと差込むことができず、クリップが破損するおそれがあります。

- ④取付けボタンを指で押込んでください。



- ⑤サムターンを回して、正確にスムーズに施・解錠操作が行えることを確認します。

- ⑥錠座カバーを錠座にはめ込んで取付けてください。

※ハンドルと違い錠座カバーはまわさないでください。

### 【ハンドルの取外し】

- ①取付けねじを外して、レバーハンドルを外してください。

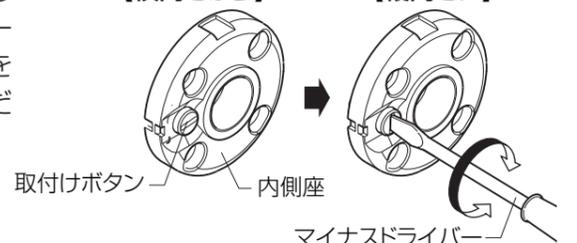
反時計回りにまわす(約20°)

- ②カバーを反時計回りにまわして外してください。



- ③内側座の取付けボタンの溝にマイナスドライバーの先端を差込んで、溝を縦向きに回転させてください。

【横向きから】 【縦向きに】



- ④両側の座を外してください。

### 【錠座の取外し】

- ①表示筒を指で押さえながら外カバー側面の切欠き部にマイナスドライバーを差込んで外カバーを外してください。



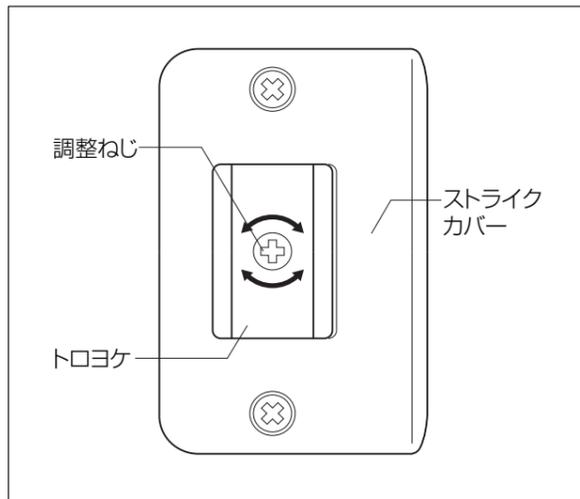
- ②マイナスドライバーで取付ボタンを押しながら縦方向になるように回転させて座をゆっくりと取外してください。



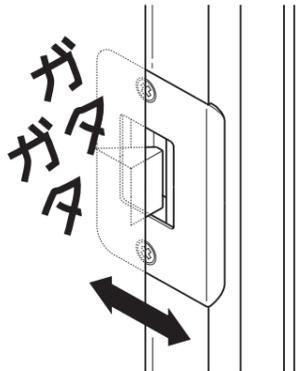
※無理やり外さないでください。嵌合が緩くなるおそれがあります。

## 8 建付け調整

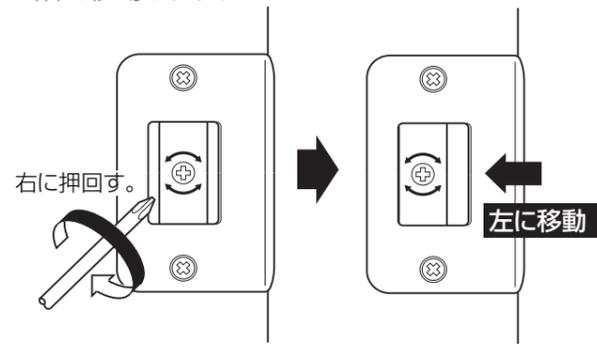
### ① 建付け調整(ストライクによる調整)



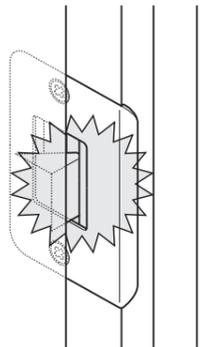
#### ■ ラッチがストライクの中でガタつく



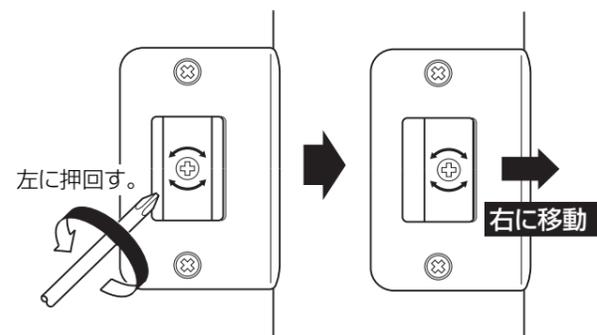
●調整ねじを押しながら、右に回してください。無段階で移動します。



#### ■ ラッチがかからない

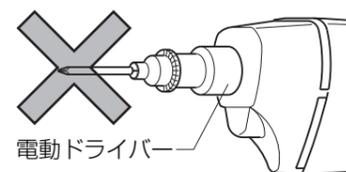
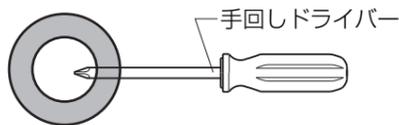


●調整ねじを押しながら、左に回してください。



### ② 建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。  
 ※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



#### 上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。

不具合例	調整方法
1.ドアの上部が枠に当たる。	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③キャップをはめる。

不具合例	調整方法
2.ドアの下部が枠に当たる。	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。 ③キャップをはめる。

#### 左右の調整

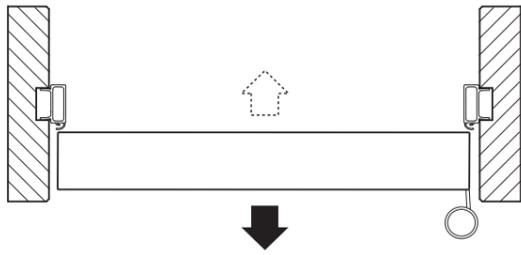
- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。

不具合例	調整方法
1.ドアの開き側が枠に当たる	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。

不具合例	調整方法
2.ドアの開き側のすき間が大きすぎる	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。

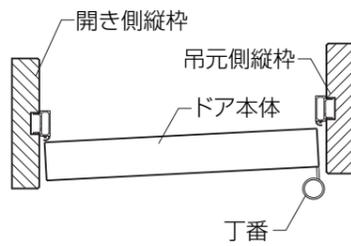
**前後の調整**

- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。



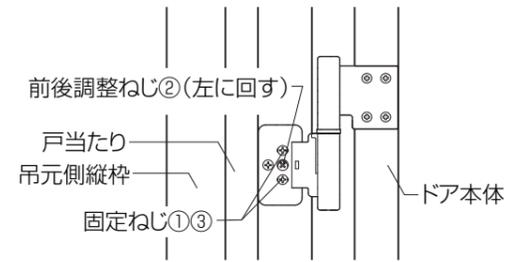
**不具合例**

**1.開き側の枠が前に出ている。**



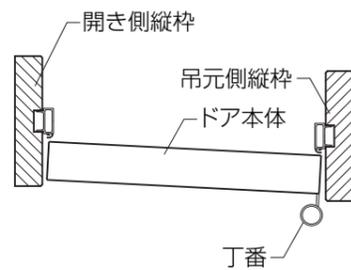
**調整方法**

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。



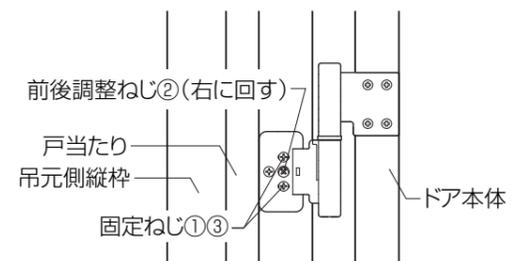
**不具合例**

**2.吊元側の枠が前に出ている。**



**調整方法**

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。

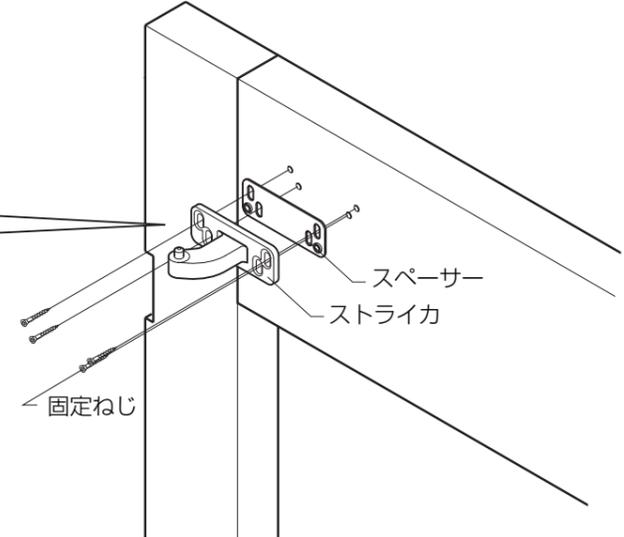
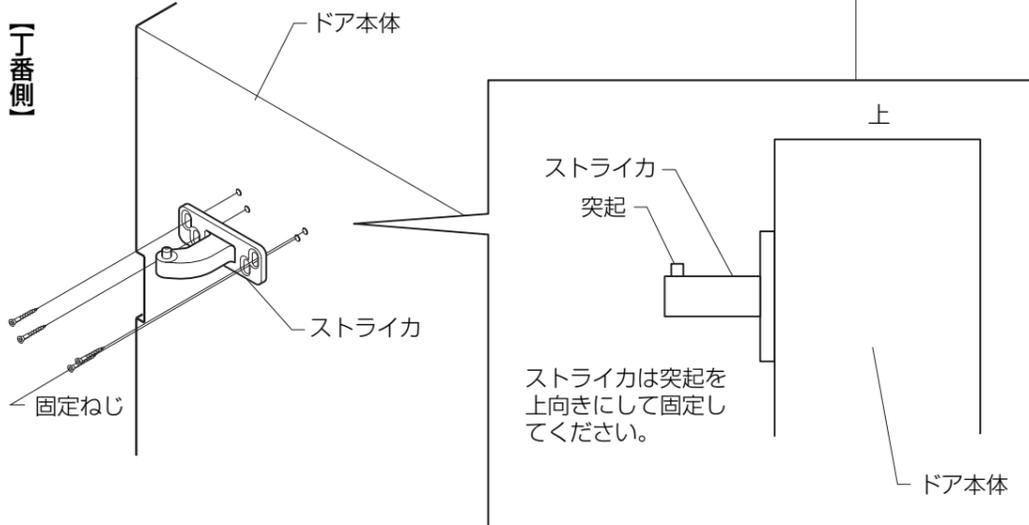


**9 ストライカの取付け**

- ストライカおよびスペーサーと固定ねじは枠の部品セットに同梱しています。
- 枠デザインの場合は、上棧とストライカ間にスペーサーをはさんで固定してください。
- 後程ストライカの位置出しを行いますので、ストライカは完全に固定せず触って軽く上下に動く状態になるよう、固定ねじは少し(1～2回転)ゆるめておいてください。

**〈フラッシュドア、幅広枠デザイン〉**

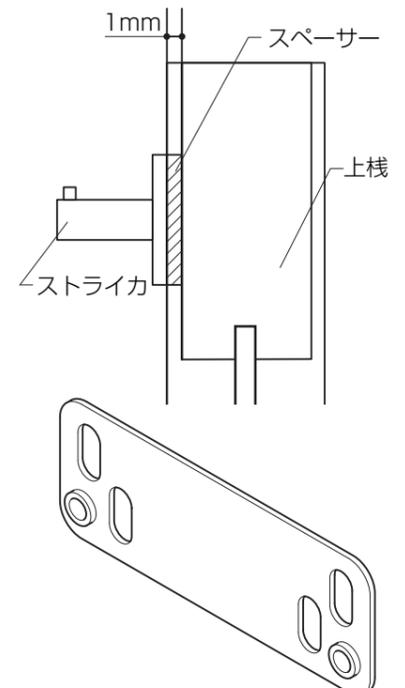
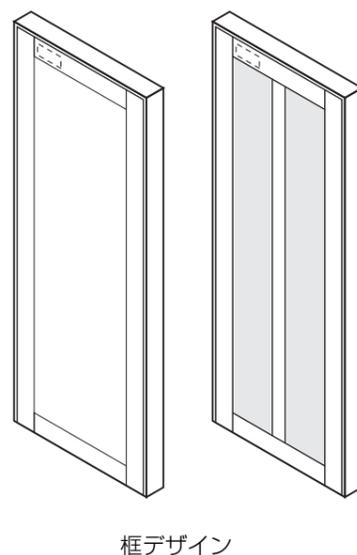
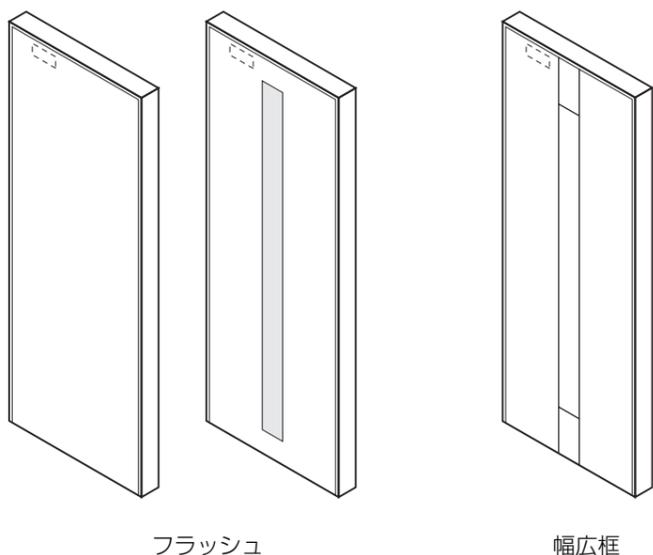
**〈枠デザイン〉**



お願い  
※フラッシュドアや縦枠にストライカを取付けするデザインの場合は、スペーサー部品は、取付けしないでください。

**デザイン例**

**デザイン例**



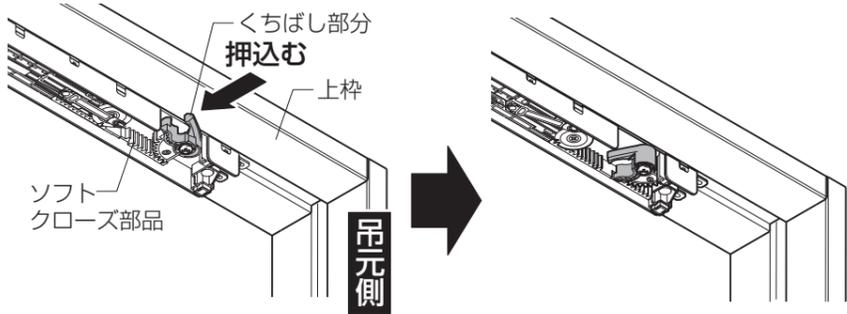
デザイン毎の本体構造については、カタログ参照をお願いします。

## 10 ソフトクローズ部品・ストライカの位置調整

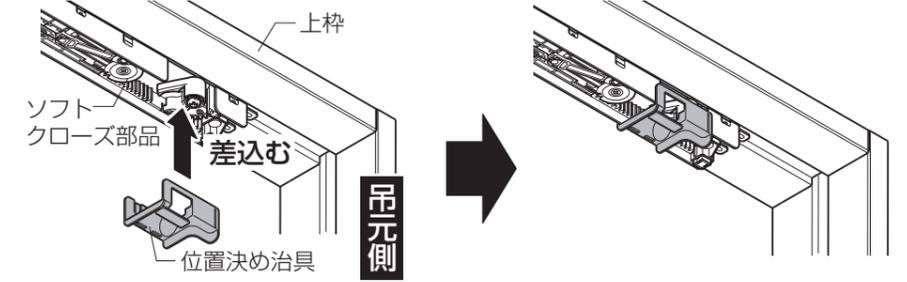
●お願い

※ソフトクローズの位置調整は、本体の建付け調整後に実施してください。  
又、位置調整にあたっては、ソフトクローズ機構が正しく機能するように必ず下記手順で行ってください。

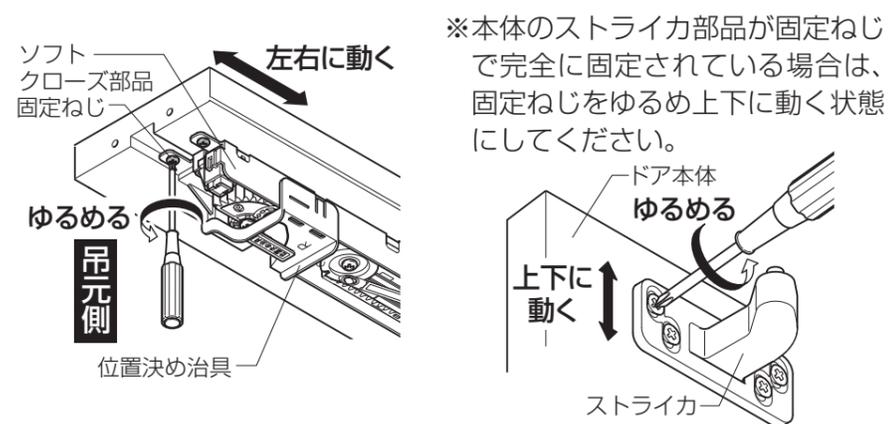
- ①ソフトクローズ部品のくちばし形状部が部品幅より出ている場合は、指でくちばし部を押込み、部品内におさめてください。



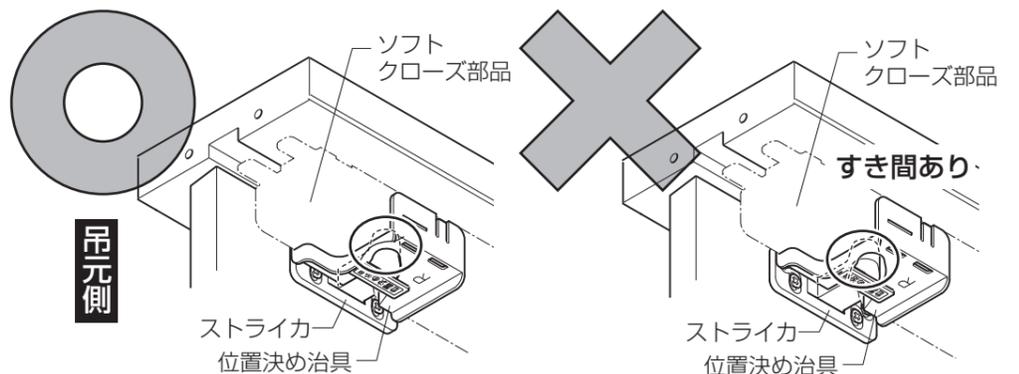
- ②位置決め治具をドア枠のソフトクローズ部品の切欠きに合わせて取付けしてください。  
※位置決め治具は枠の部品セットに同梱されています。



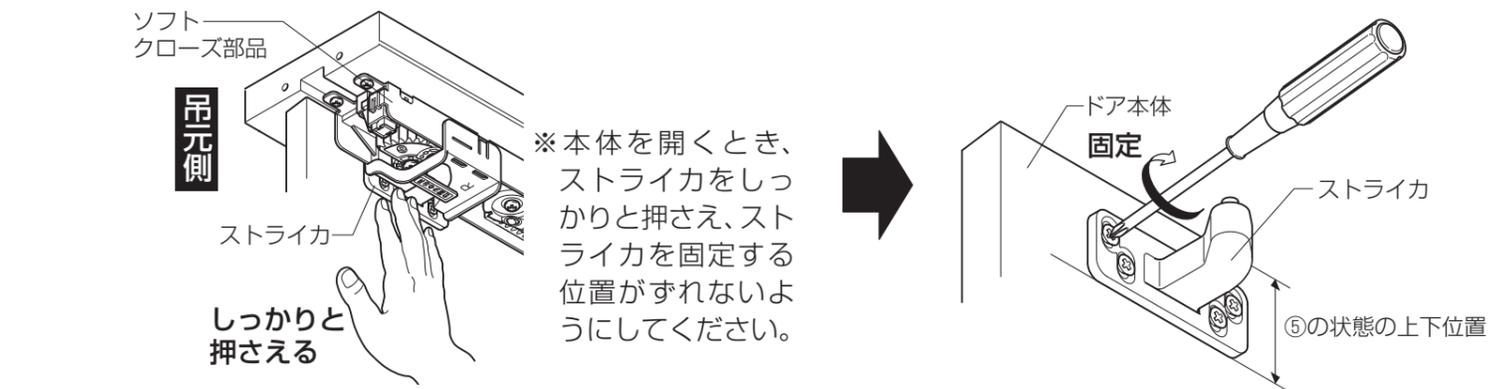
- ③上枠に付いているソフトクローズ部品の左右4箇所の固定ねじを少し(1~2回転)ゆるめ、ソフトクローズ部品が軽く左右に動く状態にしてください。



- ④本体を閉じてください。  
⑤ストライカが位置決め治具にすっぽりに入った状態にあることを確認してください。  
※入っていない場合は、ソフトクローズ部品で左右の位置調整を、ストライカで上下の位置調整をしてください。

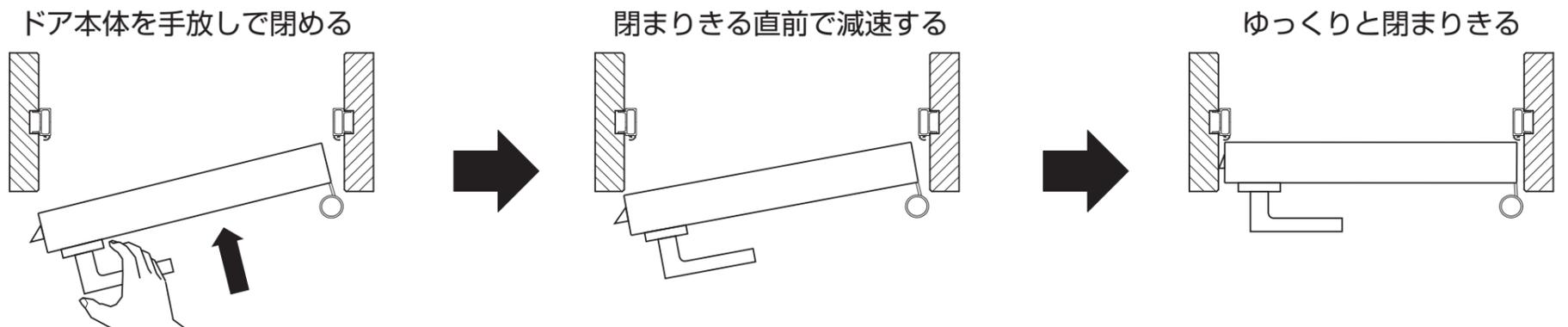


- ⑥⑤の位置でソフトクローズ部品の固定ねじ(4箇所づつ)を締めて固定してください。(固定は③の手順を逆にたどってください。)  
⑦ストライカ部品の位置がずれないように本体を開けて、ストライカ部品の固定ねじ(4箇所)を締めて固定してください。

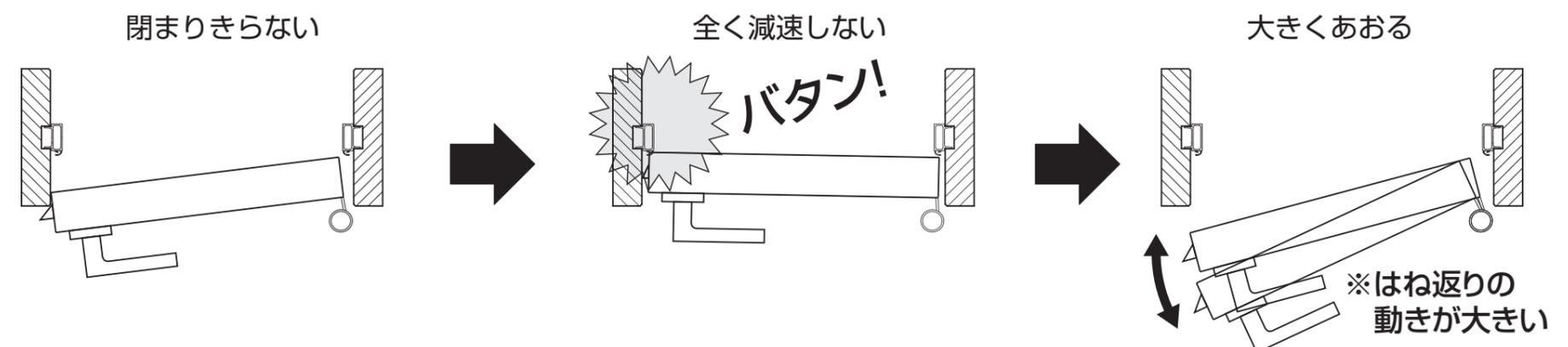


- ⑧位置決め治具を取外してください。  
⑨一度ドアを閉めて、再度開きソフトクローズ部品のくちばし形状部分が本体のストライカ部品に引っ掛かり、部品幅より出てきたのを確認後、ソフトクローズ機能の正常動作を確認します。  
※本体を開いてもソフトクローズ部品のくちばし形状部分が出てこない場合は②の手順よりやり直してください。

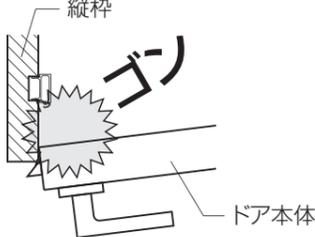
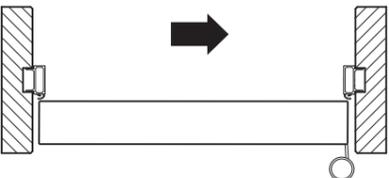
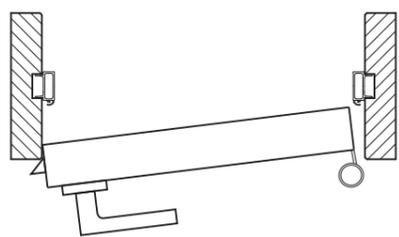
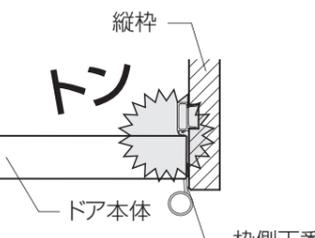
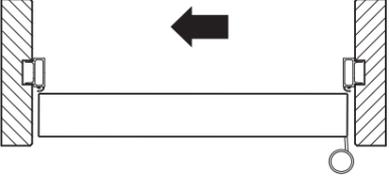
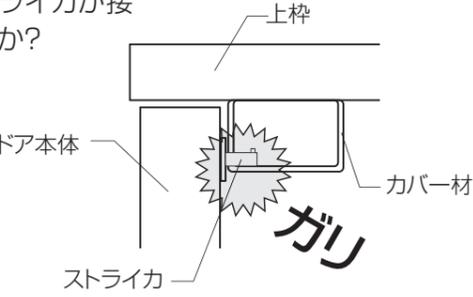
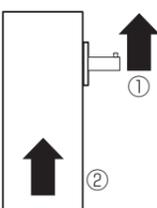
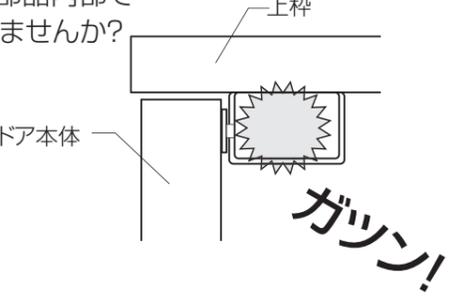
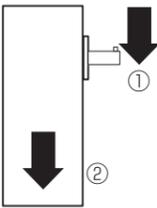
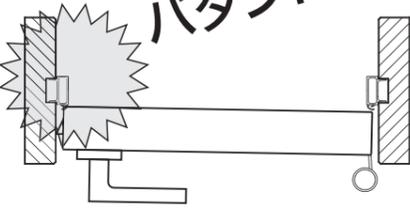
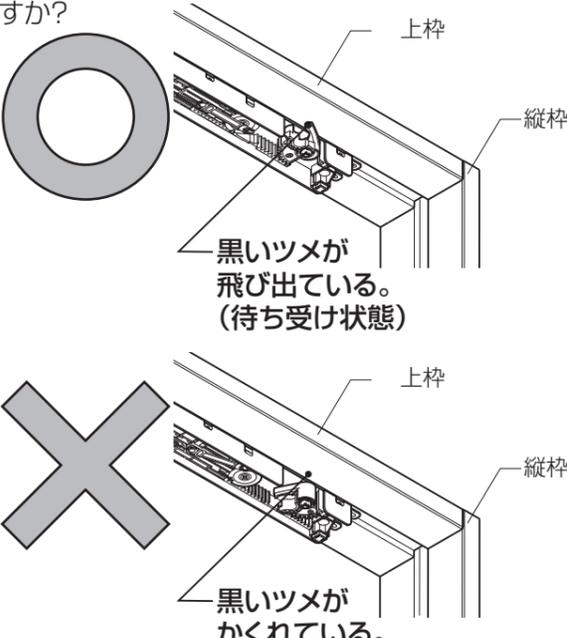
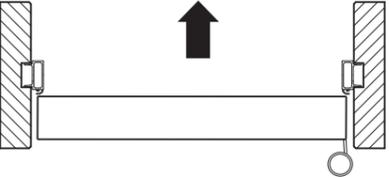
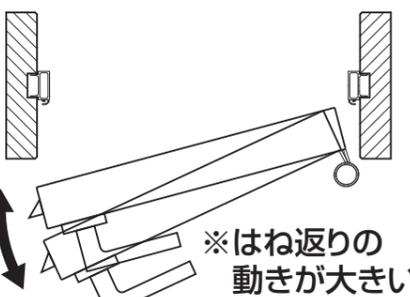
### 正常動作



### 異常



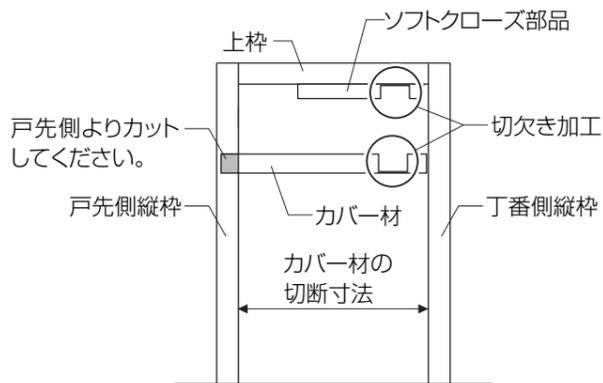
【異常時の対処について】

異常現象	チェックポイント	対 処
	<p>ドア本体戸先と縦枠が接触していませんか？</p> 	<p>8 建付け調整の項を参照して、<u>丁番左右調整</u>で、ドア本体を<u>丁番側</u>に寄せてください。</p> 
<p>閉まりきらない</p> 	<p>丁番(枠側)とドア本体木口面が接触していませんか？</p> 	<p>8 建付け調整の項を参照して、<u>丁番左右調整</u>で、ドア本体を<u>戸先側</u>に寄せてください。</p> 
	<p>カバー材とストライカが接触していませんか？</p> 	<p>まず、10を参照してストライカを<u>上げて</u>ください。それでも接触している場合は、8を参照して<u>丁番上下調整</u>でドア本体を<u>上</u>に調整してください。</p> 
	<p>ソフトクローズ部品内部で接触音がしていませんか？</p> 	<p>まず、10と参照してストライカを<u>下げて</u>ください。それでも接触音がする場合は、8を参照して<u>丁番上下調整</u>で、ドア本体を<u>下</u>に調整してください。</p> 
<p>全く減速しない</p> <p>バタン!</p> 	<p>ドア本体を開けた時に、正しく『待ち受け状態』になっていますか？</p>  <p>黒いツメが飛び出ている。(待ち受け状態)</p> <p>黒いツメがかくれている。</p>	<p>8 建付け調整の項を参照して、<u>丁番前後調整</u>でドア本体を<u>後ろ側</u>に調整してください。</p> 
<p>大きくあおる</p>  <p>※はね返りの動きが大きい</p>	<p>(左右位置が合っていないために発生しています。)</p>	<p>10を参照の上、位置決め治具を使用して、ソフトクローズ部品・ストライカの位置調整してください。</p>

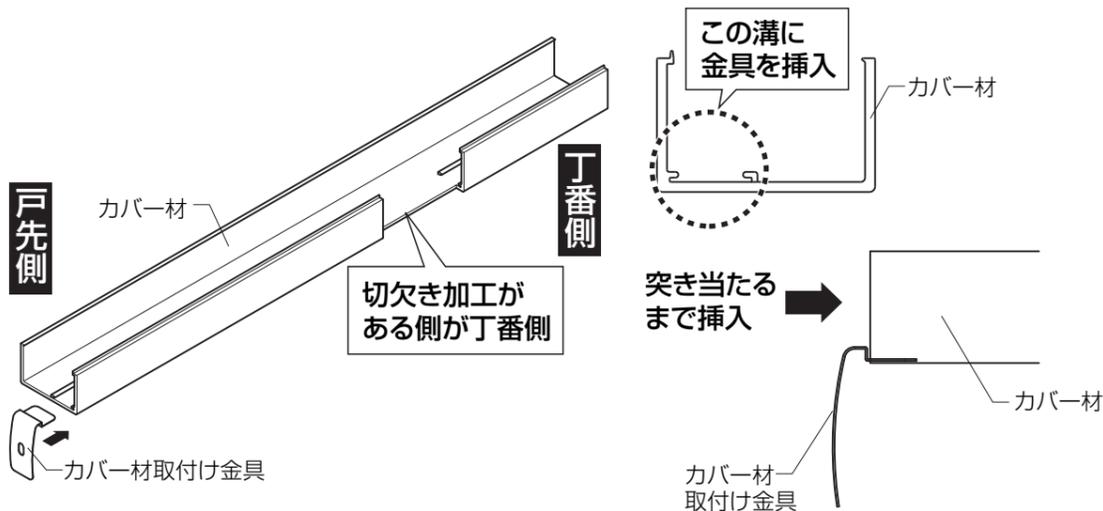
## ■カバー材の取付け

お願い  
※カバー材はソフトクローズの建付け調整が完了したのち、取付けしてください。

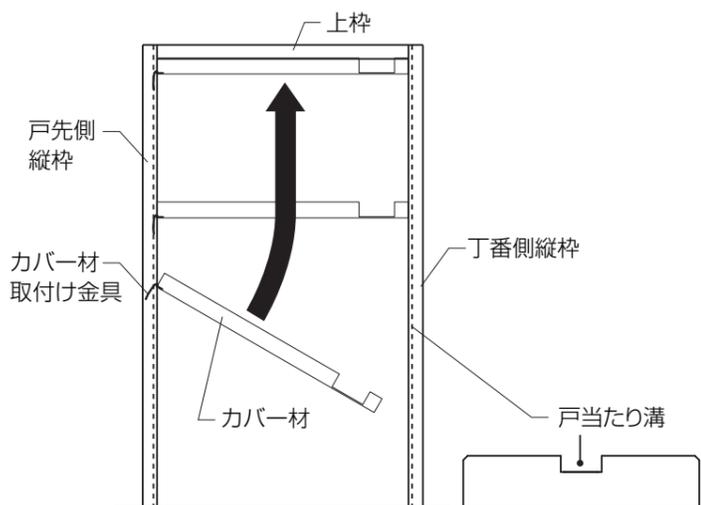
- ①仮固定されている縦戸当たりを外してください。  
②現場の開口に合わせてカバー材をカットしてください。  
ソフトクローズ部品とカバー材の切欠き加工部を合わせ、戸先側(切欠きのない側)よりカット願います。



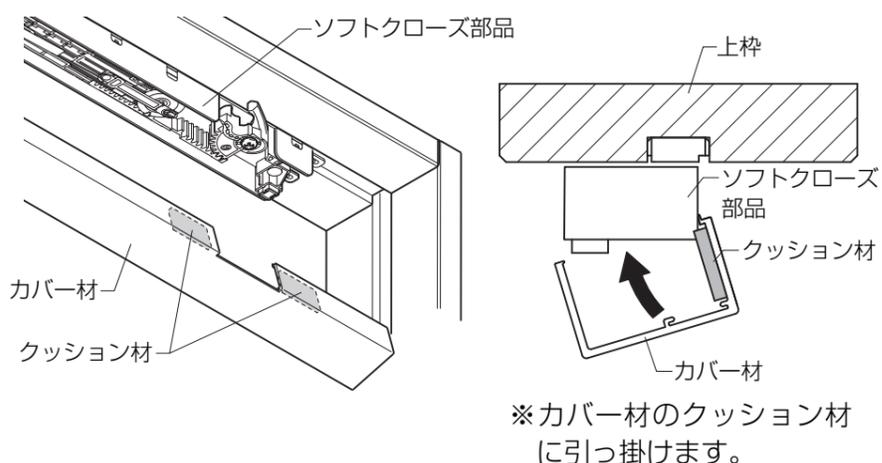
- ③カバー材の戸先側にカバー材取付け金具を取付けしてください。



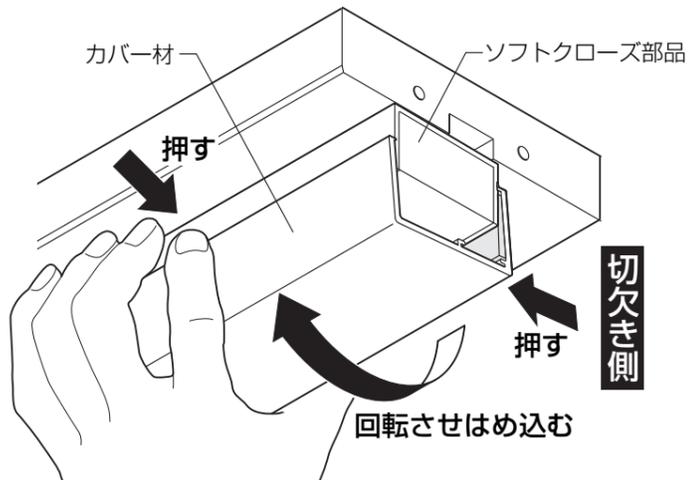
- ④戸先側縦枠の戸当たり溝にカバー材取付け金具を沿わせてカバー材を取付けます。



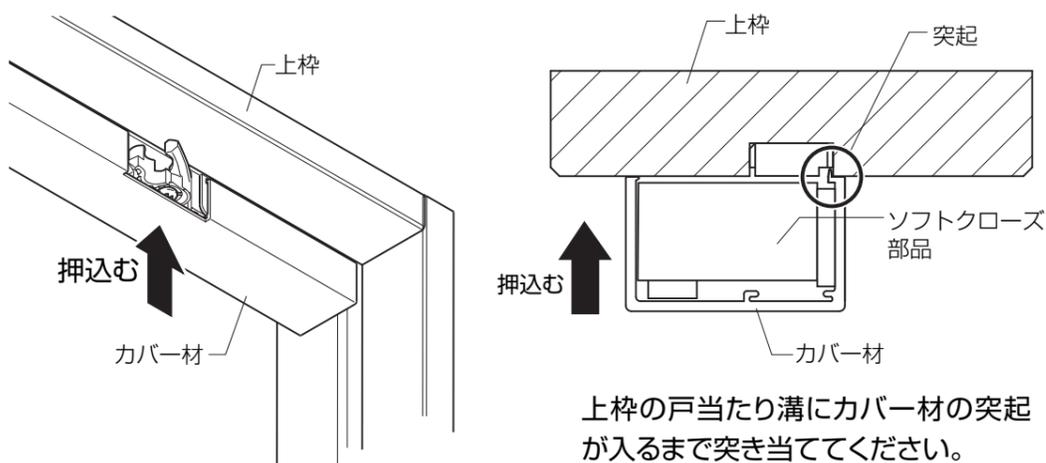
- ⑤カバー材の切欠き側の内側にはクッション材が貼付けされていますので、カバー材を少し斜めにしクッション材をソフトクローズ部品に引っ掛けるようにします。



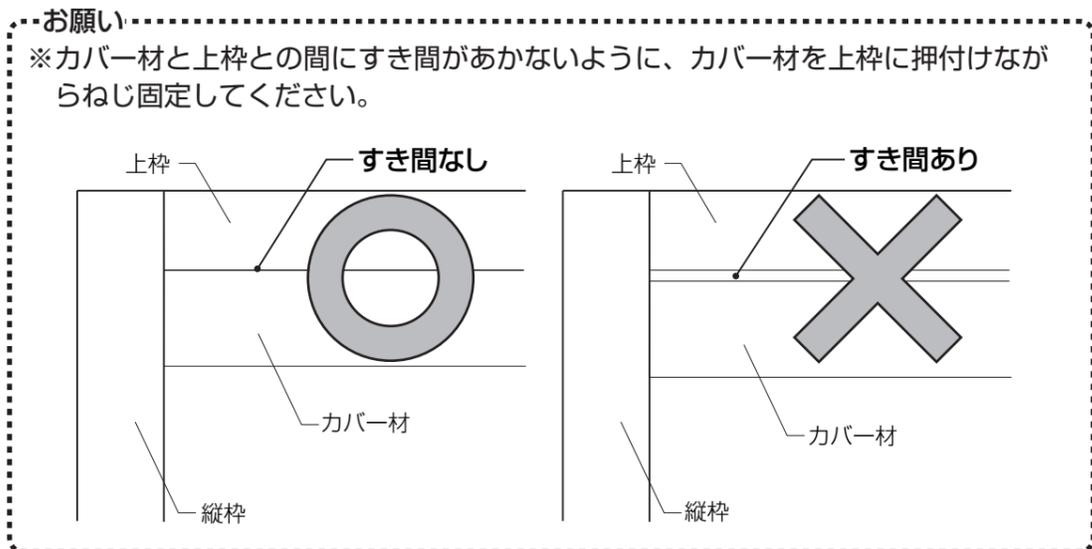
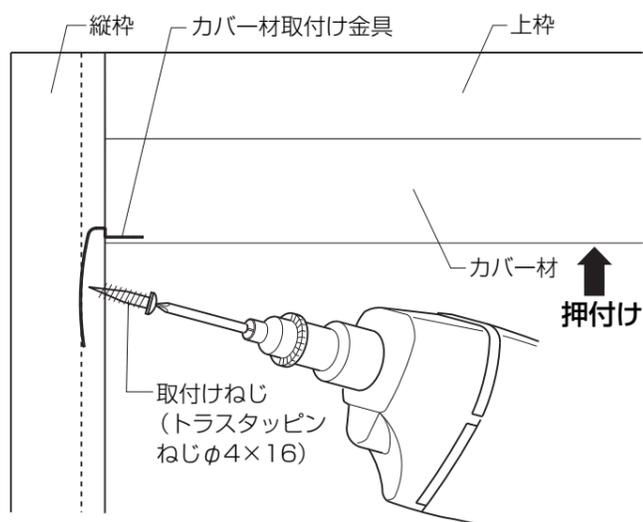
- ⑥切欠きがない側よりソフトクローズ部品を指で押込むようにしながらカバー材をはめ込みします。



- ⑦カバー材を手のひらで上枠に接するまでスライドさせ押し込みます。



- ⑧カバー材を上枠に押しつけながら同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×16)で、カバー材取付け金具を縦枠に固定してください。

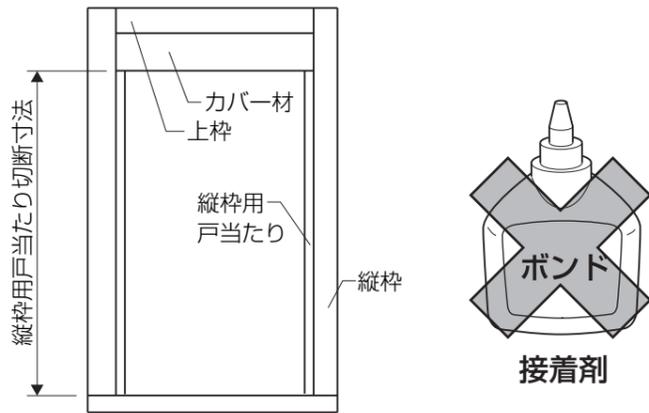


## 12 縦枠用戸当たりの取付け

- ①現場で戸当たりの寸法を合わせて切断してください。  
※縦枠用戸当りはカバー材に突付けて取付けてください。
- ②戸当たりを縦枠に接着剤を塗布せずに取付けてください。

●お願い●

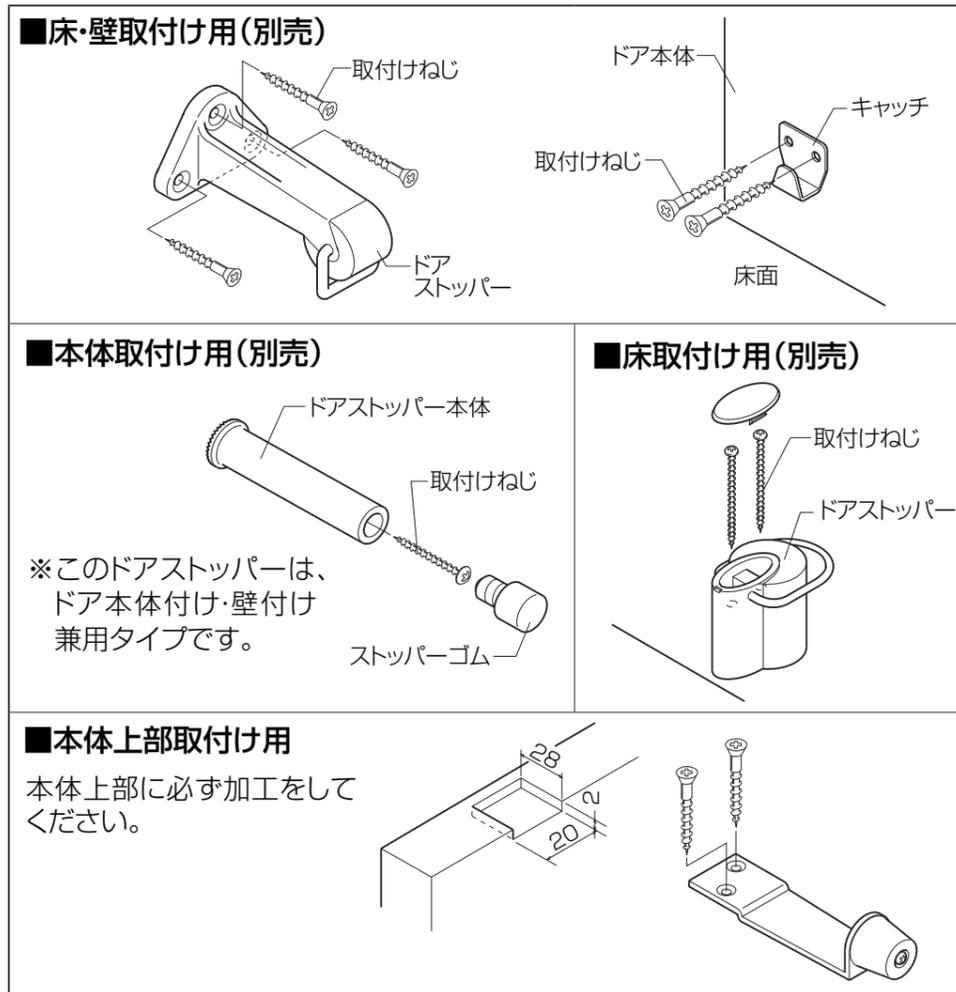
- ※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。
- ※接着剤を塗布しないでください。  
ソフトクローズで戸当たりに加わる衝撃が軽減されるため、接着剤は不要です。



## 13 ドアストッパーの取付け

### 【本体取付け用ドアストッパーおよび、キャッチの取付け範囲】

- ※下図の斜線範囲内にドアストッパー本体、又はキャッチを取付けてください。
- ※壁取付け、床取付けドアストッパーは、キャッチの位置に合わせ、壁又は床に取付けてください。
- ※ドアストッパー取付け時には、φ1.5の下穴をあけて手回しで固定してください。電動ドライバーなどの電動工具で締付けると空回りすることがあります。



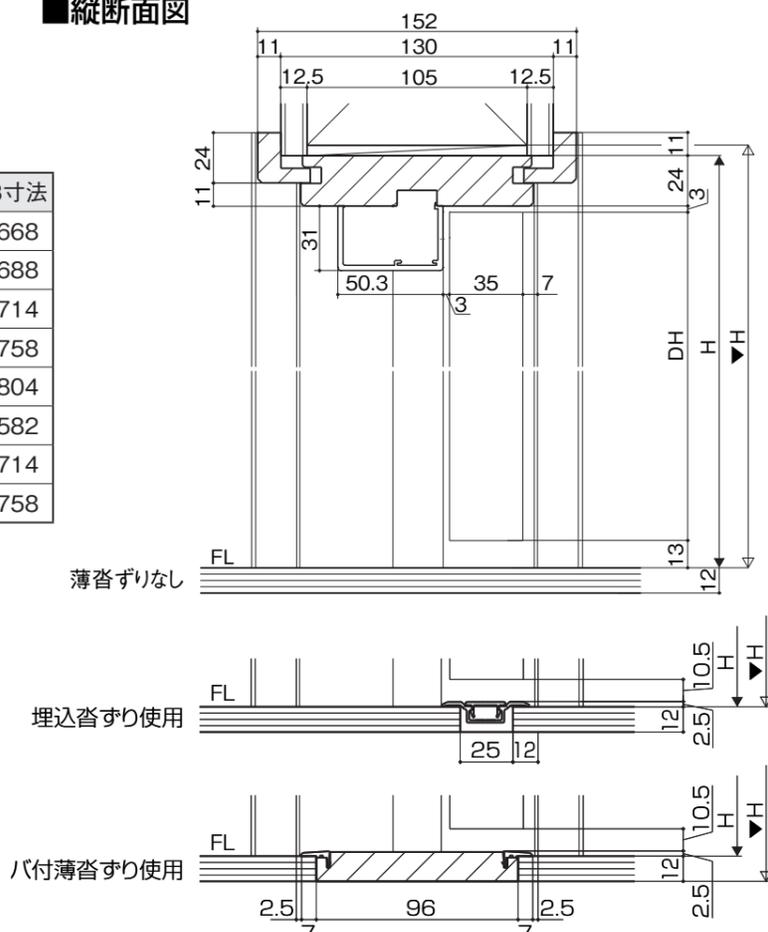
## ■納まり図

### 【標準/トイレドアユニット ケーシング付】

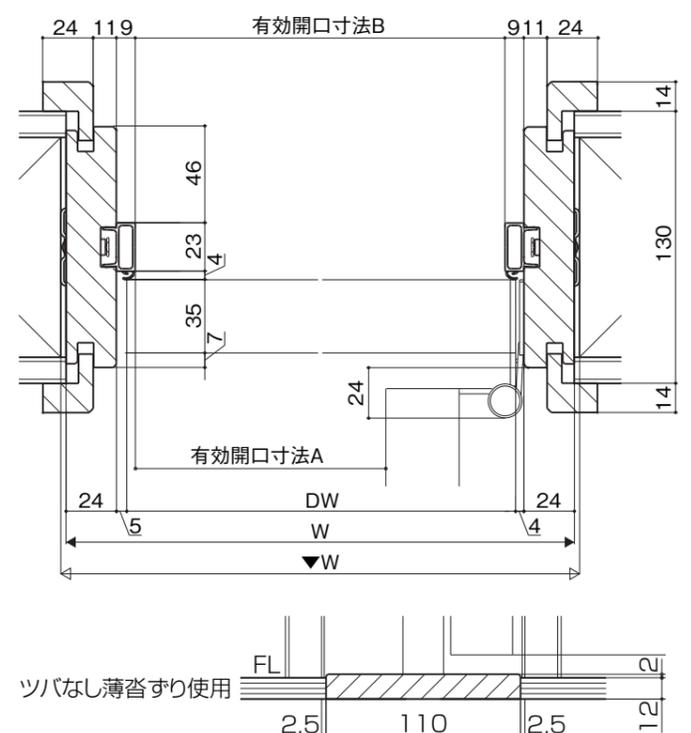
H呼称 (枠外寸法)
H18 (1823)
H20 (2023)
H23 (2306)

	W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
標準 ドア	W06 (734)	611	668
	W065 (754)	631	688
	W07 (780)	657	714
	W08 (824)	701	758
	W09 (870)	747	804
トイレ ドア	W06 (648)	525	582
	W07 (780)	657	714
	W08 (824)	701	758

### ■縦断面図



### ■横断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。